

研究発表会，ご協力ありがとうございました

第13号 平成29年2月3日（金）発行

東京学芸大学附属大泉小学校

副校長 細井 宏一

去る1月28日（土）に，公開研究発表会を開催いたしました。

午前中は，まず本年度の研究の取り組みを大出教諭（研究推進委員長）と神保教諭（研究推進副委員長）が体育館でプレゼンテーションしました。次に，IBの特色であるUOI（Unites of Inquirer 探究の単元）の研究授業を3クラスで行い，授業協議会を持ちました。どの教室も参観者の方であふれる程でした。午後は「アクティブラーニングの実践」とし，国語，算数，社会，音楽，図工，体育，英語，道徳について，合計で12本の研究授業を行い，協議会をしました。活発な議論が展開されました。

発表会の最後は，体育館でのパネルディスカッションです。「学習指導要領と国際バカロレア教育（IB）PYP とは共存できるのか」というタイトルで，4名の先生方をお招きして行いました。文科省でIB教育推進に携わられていらっしゃる文部科学省大臣官房国際課前室長の庄崎未果氏，PYPの先進的な取組を推進された同志社国際初等部の元PYPコーディネーター杉山元洋氏，東京学芸大学次世代教育推進機構の梶井芳明氏，国際中等教育学校副校長の星野あゆみ氏です。PYPのよさや，導入に向けての課題点などについて，多くの示唆をいただきました。昨年度も述べたことですが，我が国のIB教育は，高等学校や中学校段階でのプログラム（DP・MYP）については広がりを見せていますが，小学校PYPについてはまだこれからという段階です。その中で本校がPYPの研究に着手し発表を行ったことは，おそらく単独の国公立学校としては全国初であると思われます。

当日は，北海道から沖縄までの全国46の都道府県から，また香港日本人学校からもご参集いただきました。学習指導要領のよさも残しつつ，少し欲張りかもしれませんが，両者のいいところどりをして，未来の日本教育のスタンダードをつくる気持ちで教育開発しています。



また，毎年お願いしているところではございますが，今回の発表会でもPTA会長をはじめ，PTA運営委員会の皆様，常置委員会の皆様，卒業生の組織である泉友会の皆様には，多大なるご尽力を賜りました。ありがとうございました。寒い日であったにも関わらず，学校内・外での案内，受付，クローク，接待，記録写真等，細かいところまでご配慮をいただきました。皆様のお心配りに，改めまして深く感謝申し上げます。